



新芽は赤銅色に、花は淡黄色に見える。



裏面は鈍い光沢がある。



花は遠くからでも見える。

区別のポイント

葉は広楕円形で上半分に波状の鋸歯があるか全縁で、厚い革質。表面は光沢のある濃緑色、裏面は鈍く薄い赤銅色。樹皮は縦に裂ける。

形態 常緑高木。高さ 20m、直径 1 m にまでなる。

分布 本州中部以西

名前の由来

葉 **〈全体〉**広楕円形で長さ 5 ～ 15 cm、幅 2.5 ～ 4 cmの厚い革質。
〈付き方〉互生で 2 列に並び、やや斜め下向きに付く。
〈葉柄〉短い。
〈基部〉広いくさび形。
〈葉先〉急に細くなって尾状に伸びる。
〈縁〉上半分に波状の鋸歯が少しあるか、全縁。

備考 14 では萌芽、9, 15 では区別なし。

出典 9, 14, 15